音声認識機能

補足版

マーク

この補足版には以下のマークがあります：

⚠ 警告

警告ステッカーには、お客様や他の乗員などの健康または生命を危険にさらすおそれのある事項について記載されています。

環境に関する注意

環境に関する注意は、環境を意識した行動や廃棄についての情報を提供しています。

! 車両の損傷につながる危険を喚起する、機材の損傷に関する注意です。

i これらのマークは、お客様の助けになるような、便利な操作方法や詳細情報を示しています。

▶	このマークは、お客様に従っていただきたい説明を示しています。
▶	連続しているマークは、いくつかの手順がある操作を示しています。
(▷ページ)	このマークは、項目についての詳細情報がある場所を示しています。
▷▷	このマークは次のページに続く警告または操作を示しています。
ディスプレイ	この文字は、COMAND ディスプレイのメッセージを示しています。
	このマークはお客様が発声することを示します。
	このマークは音声認識機能からの音声出力を示しています。
	このマークは、システムが COMAND ディスプレイにメッセージを表示していることを示しています。

音声コマンド：この文字は、音声認識機能からの音声出力、または発声すべき音声コマンドを示しています。

メルセデス・ベンツ車をお買い上げいただきありがとうございます。

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、特に安全面と警告表示についてのご理解を深めてください。

お客様自身と周りの人々を危険から守り、お車を最大限に楽しんでいただくことができます。

お客様の車両の装備や名称は、オプションにより異なる場合があります。

メルセデス・ベンツは車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。

メルセデス・ベンツでは、デザインや装備の分野の変更を行なう権利を有しています。そのため、本取扱説明書の記述やイラストが異なることがあります。

以下のものは、車両の一部です。常に車両に搭載してください。

- 取扱説明書
- 整備手帳
- 装備に応じた補足版

また次のオーナーに車両をお譲りになる場合は、必ずすべてをお渡しください。

Daimler AG の技術文献チームはお客様が安全で快適な運転をされることを望んでいます。

メルセデス・ベンツ日本株式会社

2185840901

と

な

は

へ

ほ

ま

み

め

も

ら

り

英字

操作安全性

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。 安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

⚠ **警告**

走行中に携帯情報機器を操作すると、交通状況から注意がそれるおそれがあります。 車のコントロールを失うおそれもあります。 事故の危険性があります。

車両が停止しているときにのみ、この機能を使用してください。

走行を開始する前に、音声認識機能の機能に慣れ親しんでください。交通状況が許すときのみ、音声認識機能を操作してください。

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書では、取扱説明書発行時 点でお客様の車両に装着可能な、すべて の標準およびオプション装備について記 載しています。国により、仕様が異なる 場合があります。本書に記載されている すべての機能が、お客様の車両に当ては まらない場合があることにご留意くだ さい。このことは、安全に関する装備や 機能にも当てはまります。

ℹ 車両の取扱説明書にあるメルセデス・ベンツ指定サービス工場についての情報をお読みください。

概要

車両の装備によって、 音声認識機能により以下のシステムを操作することができます：

- 電話
- ナビゲーション
- アドレス帳
- オーディオ（ラジオ、CD/DVD チェンジャー、メモリーカード、メディアインターフェース、USB、Bluetooth®オーディオ）
- テレビとビデオ
- 車両メニューを呼び出します。
- インターネットメニューを呼び出します。

個々の単語の間で区切らずに、音声コマンドを発声してください。存在していない音声コマンドを入力した場合は、音声認識機能は以下のように応答します：

- もう一度繰り返してください
  または
- もう一度繰り返してください

音声認識機能は、重要な音声コマンドを入力したときは確認を行ない、適切でない入力を行なったときはそのことを知らせます。

音声コマンド 中止 を発声する、またはステアリングの [↩] スイッチを押すことにより、いつでも音声認識を中止することができます。

言語設定の変更

システム言語を変更して音声認識機能の言語を変更することができます。設定したシステム言語が音声認識機能にサポートされていない場合は、英語が選択されます。

上記に記載されたもの以外のシステム言語を選択している場合は、英語が音声認識機能で使用されます。

音声認識機能は、日本語と英語で使用可能です。

▶ [車両] スイッチを押します。
  車両メニューが表示されます。

▶ 設定 を選択する：コントローラーをスライドしてから ◎↓ 、まわして、押します。
  メニューが表示されます。

▶ 言語 / Language を選択する：コントローラーをまわして、押します。

▶ 希望の言語を選択する：コントローラーをまわして押します。
  システム言語が設定されます。

音声コマンドの種類

音声認識機能の音声コマンドの種類は以下のように区別されます。

- 全般的な音声コマンド

音声コマンド 電話で使えるコマンド または ナビの説明 のような、いつでも呼び出すことができる音声コマンドです。

- 特定の音声コマンド
  ラジオが作動しているときの 次の放送局 または MP3 が作動しているときの 次の曲 のような作動しているアプリケーションでのみ使用できる音声コマンドです。

アプリケーションの作動

特定の音声コマンドは、そのときディスプレイに表示されているアプリケーションや、そのとき聴いているオーディオソースに対応しています。

同時に 1 つ以上のアプリケーションを操作することができます。例えばナビゲーションおよびラジオのアプリケーションが作動しているときは、 同時に両方のアプリケーションを操作することができます。

音声認識機能を使用して他の機能を操作したい場合は、まず適切な音声コマンドで該当するアプリケーションに切り替えなければなりません。

マルチファンクションステアリングを使用しての操作

音声認識機能はイグニッションをオンにしてから約 30 秒後に操作可能になります。

ℹ 音声認識機能はいつでも中止できます。

スイッチ	説明
[戻る]	音声認識機能での対話を終了する
[音声]	音声認識機能を開始する
[受話]	通話を受ける
[終話]	通話を終える
[−]	音量を下げる
[+]	音量を上げる
[ミュート]	ミュート機能

音声認識の開始

ℹ 音声認識機能はイグニッションをオンにしてから約 30 秒後に操作可能になります。

▶ イグニッションをオンにします （取扱説明書を参照してください)。

▶ マルチファンクションステアリングの [音声] スイッチを押します。
信号音が聞こえます。音声認識が開始されます。

▶ 音声コマンドを発声します。

会話中に、COMAND ディスプレイのヘルプ表示に可能な音声コマンドが表示されます。ヘルプ表示のオンまたはオフを切り替えることができます (▷ 52 ページ)。

音声認識の中断/継続

音声認識を中断する

COMAND ディスプレイに選択リストが表示された場合は、会話を中断することができます。

▶ 音声コマンド 一時停止 を発声します。
その後に COMAND コントローラーを使用して、項目を選択できます。

音声認識を継続する

▶ マルチファンクションステアリングの [音声] スイッチを押します。
音声認識機能が再開されます。

音声認識の中止

▶ マルチファンクションステアリングの [戻る] スイッチを押します。

または

▶ 音声コマンド 音声認識を終了しますを発声します（音声タグ認識中または音声認識学習中に音声タグを録音するとき意外）。

または

▶ COMAND システムのいずれかのスイッチを押します。
音声認識機能は、音声認識を終了します で確認します。

または

▶ マルチファンクションステアリングの [消音] スイッチを押します。
音声認識機能は、確認せずに対話を中止します。

音量の調整

▶ 音声認識を開始します。

▶ 説明 のような音声コマンドを発声します。

▶ [+] または [−] スイッチを押します。
音声が出力されている間に、音量が上がるか、または下がります。

または

▶ COMAND システムの音量ダイヤルで音声出力の音量を調整します（車両の取扱説明書を参照してください）。

ヘルプ機能

音声認識機能には、音声による多くのヘルプ機能があります。たとえば、音声コマンド 電話で使えるコマンド を発声した場合は、音声認識機能は電話の主要なすべての音声コマンドを読み上げます。

特定のアプリケーションのヘルプコマンドは関連するセクションにあります。さらなるヘルプの音声コマンドは、(▷ 40 ページ) にあります。

ヘルプ機能のさらなる情報はこちらをご覧ください(▷ 48 ページ)。

COMAND ディスプレイの表示

音声のヘルプ機能は、COMAND ディスプレイの視覚的なヘルプにより補助されます (▷ 52 ページ)。ヘルプ機能がオンの場合は、会話を開始したときに、そのとき使用可能な主要な音声コマンドが COMAND ディスプレイに表示されます。

音声認識機能がさらなる選択を要求する場合は、 結果のリストが COMAND ディスプレイのさまざまな会話に表示されます。

該当する場合は、行番号または内容を発声することにより、リストの項目を選択できます。音声コマンド次のページ または 前のページ を使用してリストをスクロールすることができます。

音声コマンド 一時停止 は、会話を一時停止します。COMAND コントローラーを使用して、リストで希望する項目を見つけることができます。音声コマンド 修正 によって、情報を再入力するように促されます。

選択リストが表示されている間に [音声] スイッチを押した場合は、そのとき強調されている項目が選択されます。

リストが読み上げられている間に [音声スイッチ] スイッチを押した場合は、そのときの項目が選択されます。

電話

留意点

⚠ **警告**

走行中に携帯情報機器を操作すると、交通状況から注意がそれるおそれがあります。 車のコントロールを失うおそれもあります。 事故の危険性があります。

車両が停止しているときにのみ、この機能を使用してください。

車両で携帯通信機器を操作するときは、そのときに運転している国の法規制に従ってください。

走行中に通信機器を操作することが法律で認められている場合は、交通状況が許すときにのみ操作してください。交通状況から注意がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の方がけがをするおそれがあります。

緊張した状況では声の音が変わることがあるので、緊急時には音声認識システムを使用しないでください。

操作

音声認識機能を使用して、以下のことができます：

- 電話番号を発声して電話接続をする
- 名前および番号をアドレス帳に登録する
- アドレス帳から番号をダイヤルする
- 電話帳を読み上げさせる
- ボイスメールと音声案内サービスを聞いて操作する
- トーン信号を送信する
- 番号をリダイヤルする

音声認識機能は、以下のことを検知します：

- 電話がオンになっている
- 電話が Bluetooth®経由で接続されている
- 電話が適切な携帯のネットワークにログインしている
- 技術的な条件が満たされている場合に PIN が入力された
- ダイヤルが可能である

ダイヤルが可能でない場合は、圏外ですなどの、この状況に対するメッセージを音声認識機能が発します。

ℹ テンキーを使用して電話の操作を続けることができます。

▶ **電話のアプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの [スイッチ] スイッチを押します。

▶ 音声コマンド電話 を発声します。

▶ 電話の音声コマンドを発声します。

音声コマンド

"電話の説明"

音声コマンド 電話の説明 を使用して、電話の主要な音声コマンドを読み上げさせることができます(▷ 48 ページ)。

"pin 入力"

ℹ 技術的な条件が満たされている場合にのみ、音声コマンド pin 入力 を使用することができます。

音声コマンド pin 入力 を使用して、電話の PIN コード（個人識別番号）を入力します。この音声コマンドを発声すると、音声認識機能が暗証番号コードを入力するよう指示します。

連続した一連の数字の形式、または 3～5 桁のような数字のブロックとして暗証番号を発声してください。

"0"から"9"の数字を使用できます。それぞれの数字の文字の後に（それぞれの数字の文字の間に約 0.5 秒 の間隔を入れて）、音声認識機能は認識した数字を繰り返します。その後、お客様が続いて発声するまで待ちます。同じような音の数字はシステムが誤って認識する可能性があることにご注意ください。

音声認識の例：

- PIN 入力
- PIN をお話し下さい
- 0 1 3 3
- 0 1 3 3
- 決定

暗証番号を続けて 3 回間違えて入力すると、カードはブロックされます。ブロック解除キー（PUK）を使用して、カードのブロックを解除してください。

携帯電話のキーパッドでのみ、ブロック解除コードを入力することができます。携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

"電話をかける"

音声コマンド 電話をかける を使用して、電話番号をダイアルすることができます。

0～ 9 の数字とプラスの文字が許可されています。

+ は、00 のような国際電話コードの代わりになります。

連続した一連の数字の形式、または 3～5 桁のような数字のブロックとして電話番号を発声してください。

音声認識機能は、数字の各ブロックの後に認識する数字を繰り返します。その後、お客様が続いて発声するまで待ちます。

音声認識の例：

- 電話をかける
- 電話番号をお話し下さい。
- 0 1 3 0
- 0 1 3 0
- 5 0 0 5
- 5 0 0 5
- 決定
- 電話します

終了の音声コマンド決定の代わりにマルチファンクションステアリングの スイッチを押した場合は、特定の番号をダイアルすることもできます。

"確認"

番号を入力している間に、音声コマンド 確認 を使用して、発声したすべての数字を音声認識機能により繰り返させることができます。そして音声認識機能は、入力を続けるように促します。

音声認識の例：

- 電話をかける
- 電話番号をお話し下さい。
- 0 1 3 0
- 0 1 3 0
- 確認
- 0 1 3 0 続きの番号か発信または修正とお話しください
- 5 0 0 5
- 5 0 0 5
- 決定
- 電話します

"修正"

番号を入力している間に、音声コマンド 修正 を使用して、最後に発声した数字のブロックを訂正できます。この音声コマンドを発声したときは、音声認識機能は数字の最後のブロックを消去して、ここ

までに入力された数字を繰り返します。そして音声認識機能は、入力を続けるように促します。

音声認識の例：

- 🗣 電話をかける
- 🔈 電話番号をお話し下さい。
- 🗣 0 1 3 0
- 🔈 0 1 3 0
- 🗣 5 0 0 5
- 🔈 5 0 9 5
- 🗣 修正
- 🔈 0 1 3 0 続きの番号か発信または修正とお話しください
- 🗣 5 0 0 5
- 🔈 0 1 3 0 5 0 0 5
- 🗣 決定
- 🔈 電話します

"やり直す"

番号を入力している間に、音声コマンドやり直す を使用して、入力したすべての数字を削除することができます。この音声コマンドを発声した後で、音声認識機能は追加する数字または音声コマンドを入力するように促します。

音声認識の例：

- 🗣 電話をかける
- 🔈 電話番号をお話し下さい。
- 🗣 0 1 3 0
- 🔈 0 1 3 0
- 🗣 5 0 0 5
- 🔈 5 0 0 5
- 🗣 やり直す
- 🔈 入力された電話番号を削除します電話番号をもう一度お話しください
- 🗣 0 3 7 3
- 🔈 0 3 7 3
- 🗣 3 9 1
- 🔈 3 9 1
- 🗣 決定
- 🔈 電話します

"名前登録"

音声コマンド名前登録 を使用して、特定の人用に音声タグを付けて電話番号を保存することができます。名前が複雑だったり、書き方が読み上げた場合と異なる場合などに、この音声コマンドを使用します。音声コマンドを発声しているときに、ディスプレイに数字がない場合は、音声認識機能は電話番号を入力するかどうかを確認します。

0～ 9 の数字とプラスの文字が許可されています。

＋ は、00 のような国際電話コードの代わりになります。

連続した一連の数字の形式、または 3～5 桁のような数字のブロックとして電話番号を発声してください。

音声認識機能は、数字の各ブロックの後に認識する数字を繰り返します。その後、お客様が続いて発声するまで待ちます。

決定を発声したときは、音声認識機能は 2～3 回名前を発声するように促します。名前を繰り返す際には、初回のときと正確に同じように発音するようにしてください。さもないと、名前が保存されず、音声認識機能は保存手順を中止することがあります。

音声認識の例：

- 🗣 名前登録
- 🔈 電話番号をお話し下さい。
- 🗣 0 1 3 0
- 🔈 0 1 3 0
- 🗣 5 0 0 5
- 🔈 5 0 0 5
- 🗣 決定

新しく登録するお名前をお話しください

鈴木太郎[1]

もう一度お名前をお話しください

鈴木太郎

この番号をカテゴリーに登録しますか

仕事関連

カテゴリーをさらに絞りますか？

いいえ

音声を登録しました

"登録先に電話する（アドレス帳）"

音声コマンド登録先に電話する を使用して、アドレス帳から名前を選択することにより電話を発信できます。

音声タグまたは名前の項目の発声のいずれかを選ぶことができます。

名前の項目では、以下の方法で名前の項目を発声できます：

- 名のみ
- 姓のみ
- 名と姓
- 姓と名

音声認識の例：

"スズキタロー"に電話する[2]

項目に 1 つ以上の電話番号がある場合や、複数の同じ項目がある場合は、音声認識機能はこのことをたずねます。

鈴木太郎に電話しますか？

はい

項目に 1 つ以上の電話番号があるときは、音声認識機能がこのことをたずねてきます。

鈴木太郎 仕事関連 電話します

1 音声タグの例。
2 音声タグの例

"名前削除"（アドレス帳）

(▷ 29 ページ)

"登録先を検索"（アドレス帳）

(▷ 28 ページ)

"電話帳読み上げ"と番号のダイヤル

音声コマンド 電話帳読み上げ を使用して、電話番号が保存されているすべてのアドレス帳項目を読み上げさせることができます。必要に応じて、項目を選択できます。

音声認識の例：

電話帳読み上げ

システムは、電話番号のあるすべての電話帳項目を読み上げます。

▶ **名前と番号を選択する：**希望の項目でマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。
項目に 1 つ以上の電話番号がある場合は、音声認識機能がこのことをたずねてきます。

鈴木太郎に電話しますか？

はい

プライベートですか？ 仕事関連ですか？

仕事関連

鈴木太郎 仕事関連 電話します

"リダイヤル"

音声コマンド リダイヤル を使用して、最近発信した番号にリダイアルできます。

"発信履歴"

音声コマンド発信履歴 を使用して、最近ダイアルした電話番号のリストを呼び出

すことができます。これらの番号の中から電話をかけることができます。

"着信履歴"

音声コマンド 着信履歴 を使用して、最近着信した電話番号のリストを呼び出すことができます。これらの番号の中から電話をかけることができます。

ボイスメールと録音された音声案内サービスの管理

音声認識機能を使用して、ボイスメールまたは録音された音声案内サービスを管理することもできます。

▶ ボイスメールまたは録音された音声案内サービスに接続しているときに、音声認識機能を開始します (▷ 11 ページ)。
確認音により、システムが作動していることが確定されます。

▶ 必要な数字（0 ～ 9）を発声します。

または

▶ 必要な単語 アスタリスク または シャープ を発声します。

▶ 終了の音声コマンド決定を発声します。
システムは入力した番号に発信します。

DTMF トーン信号の送信

音声認識機能を使用して、通話中にトーン信号を送信することができます。

▶ 通話中に、マルチファンクションステアリングの [音声] スイッチを押します。

▶ 必要な数字を発声します。

または

▶ 必要な単語 アスタリスク または シャープ を発声します。

▶ 終了の音声コマンド決定を発声します。
システムは入力した番号に発信します。

メッセージ（文字および E メール）

条件： メッセージ機能を使用するためには、携帯電話が Bluetooth® 経由で COMAND システムに接続されていなければなりません。メッセージ機能についてのさらなる情報は、車両の取扱説明書にあります。

"メール"

音声コマンド メール を使用して、電話のメッセージ表示に切り替えることができます。

"受信トレイ"

音声コマンド受信トレイ を使用して、文字メッセージまたは E メールの受信ボックスのフォルダを開くことができます。音声認識機能は、文字メッセージまたは E メールの受信ボックスのフォルダを開きたいかどうかをたずねます。

"送信トレイ"

音声コマンド 送信トレイ を使用して、文字メッセージまたは E メールの送信ボックスのフォルダを開くことができます。音声認識機能は、文字メッセージまたは E メールの送信ボックスのフォルダを開きたいかどうかをたずねます。

文字および E メールメッセージを読み上げる

音声コマンド メール読上げ を使用して、システムにメッセージを読み上げさせることができます。音声認識機能は、ディスプレイの詳細表示にそのとき表示されている文字または E メールメッセージを読み上げます。音声コマンド 新しいメール読上げ を使用して、受信ボックスから新しいメッセージをシステムに読み上げさせることができます。

"メールを閉じる"

音声コマンド メールを閉じる を使用して、現在表示しているメッセージを閉じることができます。

"返信"
音声コマンド 返信 を使用して、現在表示しているメッセージに返信することができます。

"メールを書く"
音声コマンド メールを書く を使用して、メッセージを書くことができます。音声認識機能は、新しい文字メッセージまたは新しい E メールメッセージを書きたいかどうかをたずねます。

"メールを送る"
音声コマンド メールを送る を使用して、文字メッセージまたは E メールメッセージを送信することができます。音声認識機能は、そのときに表示されているメッセージを送信したいかどうかをたずねます。

"メール転送"
音声コマンド メール転送 を使用して、文字メッセージまたは E メールメッセージを転送することができます。

ナビゲーション

留意点

⚠ **警告**
走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。
交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。 安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

ナビゲーションシステムは一般の交通状況を考慮したり、危険や障害物を認識することはできません。そのため、どのような危険をも認識しそれらに反応できるように常に一般の道路や交通状況に気をつけてください。

ナビゲーションメッセージは、走行中に交通状況または運転から注意をそらすことなく、案内を行ないます。地図表示に代わる案内として、常にこの機能を使用してください。マークまたは地図表示は、交通状況および運転から注意をそらすおそれがあります。

ルート案内は推奨を提供するだけです。常に道路交通法に従い、一般の状況に運転スタイルを合わせてください。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます：

- 住所の検索
- 郵便番号での検索
- 電話番号での検索
- 立ち寄り地点の入力
- 地図に施設を表示する
- 以前の目的地を選択する
- 地図を表示する
- 地図を拡大/縮小する
- 地図の向きを設定する
- 2D/3D 地図表示に切り替える
- 目的地メモリーを読み上げる
- ルート案内を開始/中断する
- VICS 情報を表示させる
- ルートを再検索する

▶ **ナビのアプリケーションを選択する：**
マルチファンクションステアリングの [音声] スイッチを押します。

▶ 音声コマンド ナビゲーション を発声します。

▶ ナビゲーションの音声コマンドを発声します。

音声コマンド

必要な住所データがすべて入力されるまでルート案内を開始することはできません。住所を入力する音声コマンドは、(▷ 23 ページ) にあります。

"ナビの説明"

音声コマンドナビの説明 を使用して、ナビゲーションシステムの音声コマンドを読み上げさせることができます。

最初に主要なカテゴリーが読み上げられます。主要なカテゴリーを選択した後に、利用可能な音声コマンドが読み上げられます。

"現在地"

この音声コマンドを使用して、地図上の現在の車両位置を表示できます。

"到着予想時間"

音声コマンド到着予定時間 を使用して、現在予定しているルートに基づいた到着予定時間をシステムに読み上げさせることができます。

"現在の道路"

音声コマンド現在の道路 を使用して、道路の種類、使用可能な場合は道路番号を読み上げさせることができます。

"音声案内オフ"または"音声案内オン"

この音声コマンドを使用して、ルート案内の音声出力のオン/オフを切り替えることができます。音声コマンド音声案内オンを使用するときは、音声認識機能は最後の走行案内を繰り返します。

ℹ この時点までにルート案内がオフになっている場合は、再度オンにします。

"地図操作"

音声コマンド地図操作を使用して、地図をオンにしたり、変更することができます。

"詳細"または"広域"

これらの音声コマンドを使用して、ディスプレイの地図の縮尺を大きくしたり小さくしたりできます。

"最小スケール"または"最大スケール"

これらの音声コマンドを使用して、地図の表示を最小または最大の縮尺に直接設定できます。

地図の縮尺の直接入力

100 m スケールのような以下の音声コマンドを使用して、地図表示の縮尺を直接入力できます。

以下の設定が可能です：

- 20 m、100 m、200 m、500 m
- 1 km、2 km、5 km
- 10 km、20 km、50 km
- 100 km、200 km、500 km、1000 km

"コンパス"

この音声コマンドを使用して、COMAND ディスプレイにコンパスを表示できます。

"地図の向き"

ℹ この機能は、2D 表示のときにのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをノースアップとヘディングアップとに切り替えることができます。

"ノースアップ"

ℹ この機能は、2D 表示のときにのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをノースアップに設定できます。

"ヘディングアップ"

ℹ この機能は、2D 表示のときにのみ有効です。

この音声コマンドを使用して、地図の向きをヘディングアップに設定できます。

"2D 表示"

この音声コマンドを使用して、地図を 2D で表示できます。

"3D 表示"

この音声コマンドを使用して、地図を 3D で表示できます。

ルート表示

音声コマンド全ルート図表示 を使用して、ルート案内が作動している間にルートを表示させることができます。

VICS 音声コマンド

VICS（道路交通情報通信システム）は、車両に交通渋滞のリアルタイムの情報を供給します。この情報は、文字または図形で COMAND ディスプレイに表示されます。

以下の音声コマンドが可能です：

- VICS 高速表示
- VICS 高速表示オフ
- VICS 一般道表示
- VICS 一般道表示オフ
- VICS 情報あり
- VICS 情報なし
- 渋滞混雑線表示
- VICS 情報による渋滞混雑線の表示をオフにします
- VICS 順調線表示
- 順調線表示解除
- 道路規制情報表示
- 道路規制情報表示解除
- 交通障害
  音声認識機能は、交通渋滞付近の地図エリアを表示したいかをたずねます。

"ETC カード"

この音声コマンドを使用して、ETC カードの状態を照会できます。

住所の入力

システムは音声認識により、ルート案内へ導きます。有効な郵便番号を入力するとすぐに、音声認識機能はルート案内を開始したいかをたずねてきます。

"住所"

音声コマンド目的地設定 を使用して、住所を検索できます。

ℹ この機能は、日本語でのみ使用できます。言語が英語に設定されている場合は、郵便番号により目的地を入力できます (▷ 24 ページ)。

音声認識の例：

🗣	目的地設定
🔈	目的地設定
🗣	東京都港区六本木
🔈	東京都港区六本木 検索 または 前を発声してください。
🗣	確定
🔈	ルート案内を開始してよろしいですか？

はい

システムは、ルート案内を開始します。

"地区の入力（中心地）"

音声コマンド地区の入力（Enter district）を使用して、以前選択した町のエリアを入力できます。

音声認識の例：

地区の入力

地区の入力

センター

選択した町に複数の地区がある場合は、システムは地区の番号付きリストを COMAND ディスプレイに表示します。リストに 1 つしか項目がなければ、音声認識機能はそれが正しいかどうかをたずねます。

行を選んでください

1 行目

地区は、ルート案内に保存されます。ルート案内が開始します。

"修正"

住所の一部を入力した場合は、音声コマンド修正 を使用して、最後の入力を繰り返すことができます。

"通過点 1 - 4 の設定"

この音声コマンドは目的地点が設定されていて、ルート案内が作動しているときにのみ使用できます。

この音声コマンドを使用して、4 つまでの通過点を現在のルート案内に選択できます。これを行なうためには、目的位置の地図が表示されていなければなりません。

音声認識の例：

通過点 1 設定

設定された通過点が 1 つあります

"例）通過点 1 削除"

この音声コマンドを使用して、既に設定した通過点を削除できます。通過点を設定していない、または選択した通過点を既に通過した場合は、システムはそのように知らせます。

音声認識の例：

通過点 1 削除

通過点 1 を削除します

郵便番号検索

音声コマンド 郵便番号検索 を使用して、郵便番号を入力して、ルート案内を開始できます。

郵便番号を一桁ずつ発声してください。10、100、1000 などのグループで数字を発声しないでください。郵便番号が複数の住所に当てはまる場合は、ルート案内は開始できません。

音声認識の例：

郵便番号検索

郵便番号をお話しください

1 0 6 8 5 0 6

1 0 6 8 5 0 6 よろしければ検索 修正する場合は修正 最初からやり直す場合はやり直すとお話しください

確定

1-0-6-8-5-0-6 の該当地点を表示します 地図を表示します

ルート案内を開始してよろしいですか？

はい

システムは、ルート案内を開始します。

電話番号検索

音声コマンド 電話番号検索 を使用して、電話番号を入力して、ルート案内を開始できます。

ℹ 電話番号は一桁ずつ発声してください。10、100、1000 などのグループで数字を発声しないでください。

音声認識の例：

- 🗣 電話番号検索
- 🔈 電話番号をお話しください
- 🗣 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8
- 🔈 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8
- 🗣 確定
- 🔈 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 を
- 🔈 ルート案内を開始してよろしいですか？
- 🗣 はい
- 🖵 システムは、ルート案内を開始します。

"施設"

音声コマンド 施設 を使用して、特別な目的地（ガソリンスタンド、空港、鉄道の駅など）を選択できます。すべてのまたは一部の施設を入力できます。

音声認識の例：

- 🗣 施設
- 🔈 施設名をお話し下さい
- 🗣 東京タワー
- 🔈 東京タワーで検索します
- 🖵 システムは、施設の番号付きリストを COMAND ディスプレイに表示します。
- 🔈 該当する施設が 10 件見つかりました 行を選んでください 更に絞り込む場合は、詳しい施設名か場所もしくはジャンルをお話しください
- 🗣 1 行目
- 🔈 1 行目確認しました 東京タワーを表示します ルート案内を開始してよろしいですか？
- 🗣 はい
- 🖵 システムは、ルート案内を開始します。

施設のアイコンを表示する/非表示にする

ℹ 地図の縮尺が 500 メートルまたはそれ以下に設定されているときにのみ、施設のアイコンが表示されます。

以下の音声コマンドを使用して、地図上のマークを表示したり非表示にすることができます：

- 登録先を検索 ***
- 施設アイコンのオフ

*** には以下の項目が含まれます：

- レストラン表示
- コンビニ表示
- ガソリンスタンド表示
- 駐車場表示
- 銀行表示
- 個人設定アイコン表示

音声認識の例：

- 🗣 レストラン表示
- 🔈 レストランアイコンを表示します

"目的地の履歴"

音声コマンド 目的地の履歴 を使用して、以前選択した目的地のリストから目的地を再選択できます。

"位置データ"

音声コマンド 位置データ を使用して、現在の目的地を音声タグ付きでアドレス帳に保存することができます。

または別アドレスとして、既存の入力項目に目的地を追加できます。

ℹ 希望の音声タグがすでにアドレス帳に存在する場合は、システムはそのアドレスを追加したいかをたずねます。

音声認識の例：

- 🗣 位置データ
- 🔈 位置データを既存のアドレス帳に追加しますか？
- 🗣 いいえ
- 🔈 新しく登録するお名前をお話しください
- 🗣 鈴木太郎
- 🔈 もう一度お名前をお話しください
- 🗣 鈴木太郎
- 🔈 新しい位置データのカテゴリーを登録しますか？
- 🗣 仕事関連
- 🔈 目的地"鈴木太郎 仕事関連"が保存されました

"現在の場所の保存"

音声コマンド 位置データ を使用して、現在の車両位置を保存できます。

- 🗣 位置データ
- 🔈 メモリー地点に登録しました

"登録地 1 - 3"

この音声コマンドを使用して、事前に登録した目的地を呼び出し、この目的地までのルート案内を開始できます。3 つまでの目的地を事前に設定できます。

音声認識の例：

- 🗣 登録地 1
- 🔈 登録地 1 を目的地に設定しますか
- 🗣 はい
- 🔈 登録地 1 を目的地に設定しました

"自宅"

この音声コマンドを使用して、自宅住所までのルート案内を開始できます。このためには、事前に COMAND システムに自宅住所を登録しなければなりません。

音声認識の例：

- 🗣 自宅
- 🔈 自宅を目的地に設定しますか
- 🗣 はい
- 🔈 自宅を目的地に設定します

"登録先に案内する"

音声コマンド 登録先に案内する を使用して、アドレス帳に保存した住所を選択して、ルート案内を開始できます。

音声認識の例：

- 🗣 登録先に案内する
- 🔈 お名前をお話しください
- 🗣 鈴木太郎 [3]
- 🔈 ルート案内を開始してよろしいですか？
- 🗣 はい
- ▭ システムは、ルート案内を開始します。

"位置データがあるアドレス帳の読み上げ"

音声コマンド 位置データがあるアドレス帳の読み上げ を使用して、目的地住所が保存されているアドレス帳のすべての項目を読み上げさせることができます。希望であれば、ルート案内の目的地として項目を設定できます。

音声認識の例：

- 🗣 位置情報が登録されているアドレス帳の読み上げ

  システムがアドレス帳の目的地メモリーから項目を読み上げます。

3 音声タグの例

▶ 希望する名前が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

1 つ以上の住所がある場合は、システムがこの方でよろしいですか? プライベートですか？ 仕事関連ですか？とたずねます。

自宅

XXXX への案内を開始しますか？

はい

新しい目的地への案内を開始しますか

はい

システムは、ルート案内を開始します。

"ルート案内開始"

音声コマンド 案内開始 を使用して、有効な目的地を入力した後にルート案内を開始できます。

ルート案内を開始します。

ルート案内を開始します.

"案内中止"

この音声コマンドを使用して、ルート案内を中止できます。

音声認識の例：

案内中止

ルート案内を取り消してよいですか？

はい

ルート案内を中止する。

ナビゲーションシステムは、ルート案内を中止します。

または

いいえ

現在のルート案内を継続します

音声認識機能が終了されます。ルート案内は作動したままです。

"案内再開"

この音声コマンドを使用して、ルート案内が中断された後に再開できます。

音声認識の例：

案内再開

現在のルート案内を継続します

"別ルート"

この音声コマンドを使用して、代替ルートのルート案内に切り替えられます。

ルートを変更する

以下の音声コマンドを使用して、すでに検索されたルートを変更できます：特定のカテゴリーを選択できます。

- 有料道優先
- 一般道優先
- 推奨ルート
- 距離優先
- 代替ルート
- 再探索
- 迂回探索

音声認識の例：

距離優先

距離優先で再探索します

アドレス帳

留意点

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。 安全が確保されない

操作

場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

概要

アドレス帳を使用して、個人情報を項目の形式に登録できます。

音声認識機能を使用して、アドレス帳に登録されている電話番号にダイアルしたり、登録されている住所にルート案内を開始できます。

アドレス帳の氏名欄にあるすべての項目は音声認識機能によって認識できます。アドレス帳項目の認識は入力された氏名によります。

選択している間は、以下の方法でタグを発声できます。

- 名のみ
- 姓のみ
- 名と姓
- 姓と名

アドレス帳項目の以下のことを確認します。

- 姓と名などの氏名項目が正しい欄にある
- 略語や頭字語が使われていない
- 氏名に不必要なスペースがない
- 特別な文字が使用されていない

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます：

- 名前を保存する
- 氏名に電話する
- 名前を削除する
- アドレス帳を読み上げる
- 目的地メモリーを読み上げる(▷ 26 ページ)
- アドレス帳を削除する
- アドレス帳を開く
- アドレス帳から項目を開く
- 電話帳を読み上げる (▷ 19 ページ)

▶ **アドレス帳のアプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの [音声] スイッチを押します。

▶ 音声コマンド アドレス帳 を発声します。

▶ マルチファンクションステアリングの [音声] スイッチを押します。

▶ アドレス帳の音声コマンドを発声します。

音声コマンド

"アドレス帳の説明"

音声コマンドアドレス帳の説明 を使用して、アドレス帳の主要な音声コマンドを読み上げさせることができます。

"名前登録"

(▷ 18 ページ)

"登録先に電話する"

(▷ 19 ページ)

"登録先に案内する"

音声コマンド登録先に案内する を使用して、アドレス帳の住所を検索します。

例えば以下のように、音声認識機能はどのような動作を実行したいのかをたずねます：

- 対応する電話番号に電話する
- 登録した住所にルート案内を開始する
- 項目を開く

"登録先を検索"

音声コマンド登録先を検索 を使用して、アドレス帳の氏名を検索します。

例えば以下のように、音声認識機能はどのような動作を実行したいのかをたずねます：

- 対応する電話番号に電話する
- 登録した住所にルート案内を開始する
- 項目を開く

"名前削除"

音声コマンド 名前削除 を使用して、お客様のアドレス帳から音声タグを削除します。

音声認識の例：

- 名前削除
- お名前をお話しください
- 鈴木太郎 [4]
- 鈴木太郎を削除しますか？
- はい
- 音声登録を削除しました

"アドレス帳読み上げ"

音声コマンドアドレス帳読み上げ を使用して、アドレス帳のすべての名前および音声タグを読み上げさせることができます。そうしている間に項目を選択することができます。

音声認識の例：

- アドレス帳読み上げ

システムはアドレス帳のすべての項目を読み上げます。多くの項目があるときは、システムはどの項目から読み上げ始めるかをたずねます。

ℹ 氏名を発声しないときは、音声認識機能はアドレス帳の全ての項目を読み上げます。

▶ **アドレス帳の項目を選択する：** 選択する項目で スイッチを押します。
項目が選択され、COMAND ディスプレイに表示されます。

- 鈴木太郎に電話しますか？　案内しますか？　もしくは表示しますか？
- 開く
  項目が開きます。

"電話帳読み上げ"と番号のダイヤル

(▷ 19 ページ)

"アドレス帳削除"

音声コマンド アドレス帳削除 を使用して、アドレス帳の個別の音声タグ、またはすべての音声タグを削除することができます。住所データおよび名前の項目は削除されません。

"位置データがあるアドレス帳の読み上げ" と目的地へのナビゲーション

(▷ 26 ページ)

ラジオ

留意点

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。 安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

4 音声タグの例

操作

音声認識機能を使用して、以下のことができます：

- 放送局を探す
- 周波数を選択する
- 交通情報のオンおよびオフを切り替える
- 放送局リストを聞く
- 放送局の音声タグを保存する
- 音声タグを削除する
- すべての音声タグを放送局リストから削除する
- 周波数バンド（FM または AM）を選択する

受信して登録したすべての放送局の名前は音声認識で利用できます。

▶ **ラジオのアプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの [スイッチ] スイッチを押します。

▶ 音声コマンド ラジオ を発声します。

▶ マルチファンクションステアリングの [スイッチ] スイッチを押します。

▶ ラジオの音声コマンドを発声します。

音声コマンド

"ラジオの説明"

音声コマンド ラジオの説明を使用して、ラジオのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます。

最初に主要なカテゴリーが読み上げられます。主要なカテゴリーを選択した後に、利用可能な音声コマンドが読み上げられます。

受信帯域の選択

以下の音声コマンドを使用して受信帯域を設定することができます：

- FM
- AM

"次の放送局"/"前の放送局"

以下の音声コマンドを使用して、次に受信可能な放送局に切り替えることができます：

- 次の放送局
- 前の放送局

周波数を選択する

FM 帯（87.5~108.0 MHz）内で直接周波数を選択することができます。音声認識機能は、単語 周波数、点 および メガヘルツも認識します。

音声認識の例：

[話者] 97.5MH z

[画面] 音声認識機能は周波数を設定します。

"プリセット 1"から"プリセット 99"

音声コマンド プリセット 1 ～ プリセット 99 を使用して、そのプリセット番号を使用して以前保存した放送局を呼び出すことができます。

音声認識の例：

[話者] プリセット 23

[画面] 音声認識機能は、そのプリセットに対応する周波数を設定します。

"放送局選択"

音声コマンド 放送局選択を使用して、保存した放送局を選択することができます。

音声認識の例：

- 放送局選択
- 放送局名をお話しください
- FM 横浜
- 音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局　FM 横浜"

この音声コマンドを使用して、保存された放送局を直接選択できます。放送局の名前が変更されている場合は、使用できません。

音声認識の例：

- 放送局 FM 横浜
- 音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局読み上げ" と放送局の選択

音声コマンド 放送局読み上げ を使用して、許容できる受信品質のすべての放送局のリストを聞くことができます。放送局リストから放送局を選択することもできます。

音声認識の例：

- 放送局読み上げ

システムは、放送局リストを読み上げます。

希望する放送局が読み上げられた場合

▶ スイッチ を押します。
システムは、対応する周波数を設定します。

"放送局を削除する"

音声コマンド放送局を削除する を使用して、放送局リストから 1 つの音声タグを削除することができます。

音声認識の例：

- 放送局を削除する
- どの放送局を削除しますか？
- Favourite station（お気に入りの放送局）[5]
- "お気に入りの放送局"を削除しますか?
- はい
- 放送局名を削除しました

"放送局を全て削除する"

音声コマンド放送局を全て削除する を使用して、放送局リストからすべての音声タグまたは個別の音声タグを削除することができます。

音声認識の例：

- 放送局を全て削除する
- FM には 5 個の放送局名の登録があります 全てを削除してよろしいですか？
- はい
- 全ての放送局名を削除しました
- システムはすべての音声タグを放送局リストから完全に削除します。

または

- いいえ
- システムは放送局リストを読み上げます。

システムが削除する放送局を読み上げた場合：

▶ スイッチを押します。
削除する放送局が選択されます。システムはもう一度その放送局名を読み上げます。

- "お気に入りの放送局"を削除しますか?
- はい

5　音声タグの例。

放送局名を削除しました

システムは放送局を削除し、放送局リストの残りの登録内容を読み上げます。

または

いいえ

システムが機能を終了します。

"交通情報オン/交通情報オフ"

音声コマンド交通情報オン および 交通情報オフ を使用して、交通情報（TA）のオンまたはオフを切り替えることができます。

DVD チェンジャー

留意点

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。 安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

DVD の操作

音声認識機能を使用して、以下のことができます：

- CD/DVD を選択する
- トラックを選択する
- MP3 モードで SD カードまたは USB ポートにアクセスする
- DVD オーディオモードでグループを選択する

ⓘ 音声コマンド 次の CD/DVD または前の CD/DVD を発声した場合は、CD/DVD チェンジャーは他の CD/DVD に切り替わります。空いているスロットはスキップされます。音声コマンド CD/DVD 1 から CD/DVD 6 の範囲を使用して、特定のスロットを選択できます。空いているスロットが選択された場合は、そのときのスロットが選択されたままになります。

▶ **これらのメディア（CD/DVD/MP3）を選択する：** マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 以下の音声コマンドのいずれかを発声します：

- ディスク/CD チェンジャー/オーディオ CD
- DVD

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 音声コマンドの CD/DVD/MP3 を発声します。

音声コマンド

"CD の説明" / "DVD の説明"

以下の音声コマンドを使用して、CD または DVD プレーヤーのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます：

- CD の説明
- DVD の説明

"CD"/"BGM CD"/"DVD"/"BGM DVD"

音声コマンド CD/DVD を使用して、挿入した CD または DVD に切り替えることができます。

音声コマンド BGM CD/BGM DVD を使用しても、挿入した CD または DVD に切り替えることができます。ナビゲーションなど、現在表示されている画面をそのままにすることができます。

"1 曲目"から"999 曲目"

ℹ "メディアインターフェース"、"USB"および"メモリーカード"メディアには、最大で 999 トラックを収納できます。

音声コマンド トラック 1 ～ トラック 999 を使用して、作動しているメディアソースからトラック番号を選択できます。

"次の曲"

音声コマンド 次の曲 を使用して、次のトラックを選択できます。

"次のチャプター"

挿入した DVD がチャプターに分割されている場合は、音声コマンド 次のチャプター を使用して、次のチャプターを選択できます。

"前の曲"

音声コマンド 前の曲 を使用して、前のトラックを選択できます。

"メモリーカード"/"BGM メモリーカード"

音声コマンド メモリーカード/BGM メモリーカードを使用して、COMAND システムの SD メモリーカードに切り替えることができます。

テレビおよび DVD ビデオモード

留意点

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。 安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

テレビの操作

ℹ 車両が動いている間はテレビモードを使用することはできません。

音声認識機能を使用して以下のことができます：

- テレビを作動させる
- チャンネルを変更する

▶ **テレビを選択する：** マルチファンクションディスプレイの [音声] スイッチを押します。

▶ 以下の音声コマンドの一つを発声します：
  - テレビ

▶ マルチファンクションステアリングの [音声] スイッチを押します。

▶ テレビの音声コマンドを発声します。

音声コマンド

"テレビの説明"

音声コマンド テレビの説明 を使用して、テレビのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます。

"次の放送局"/"前の放送局"

以下の音声コマンドを使用して、放送局サーチを開始して、次の放送局を設定できます：

- 次の放送局
- 前の放送局

"放送局選択"

音声コマンド 放送局選択 を使用して、保存した放送局を選択します。放送局が音声タグにより保存されている場合にのみ、この機能を使用できます。

音声認識の例：

放送局選択
放送局名をお話しください
BBC 2
音声認識機能は放送局を設定します。

"放送局 <放送局名>"

この音声コマンドを使用して、保存した放送局を直接選択することができます。放送局が音声タグにより保存されている場合にのみ、この機能を使用できます。

音声認識の例：

放送局 BBC2
音声認識機能は、放送局を設定します。

ミュージックサーチ

操作

ミュージックサーチを使用して、利用できるすべてのメディアから音楽トラックをサーチすることができます。

メディアインターフェース、USB および SD カードで使用できる音楽トラックをサーチすることもできます。

ℹ 利用可能な内部メディアでミュージックサーチを開始するためには、メディア再生機器（CD プレーヤーなど）をオンにする必要があります。

メディアインターフェース経由でミュージックサーチを開始するためには、外部メディア再生機器（iPod®など）をオンにする必要があります。

さらに、あらかじめ利用可能なミュージックデータをシステムで検索しておく必要があります。この処理により音声認識機能用データの追加準備作業が起動します。データ量に応じて時間がかかる場合があります。

ミュージックサーチは、以下の内部メディアに対応しています：

- ディスクモード（CD/DVD/MP3）
- メモリーカード

メディアインターフェースを経由してミュージックサーチを行なっているときは、iPod®などの外部メディアプレーヤにあるデータのみが使用されます。

音声認識機能を使用して、以下の基準に応じて内蔵メディアをサーチすることができます：

- アルバム
- 曲名
- アーティスト
- 作曲家
- ミュージックジャンル
- プレイリスト
- 発売日

フリーミュージックサーチで、複数の検索基準の組み合わせを発声することもできます(▷ 36 ページ)。[6]

6 iPod® がメディアインターフェース経由で接続されている場合は、ミュージックサーチには使用できません。

メディアインターフェースでは、以下の基準に応じて iPod®などでサーチすることができます：

- アルバム（Album）
- 曲名
- アーティスト
- 作曲家
- ミュージックジャンル

▶ **ミュージックサーチをオンにする：** CD プレーヤーなど、希望するメディア再生機器をオンにします。

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 音声コマンド曲を探すを発声します。

▶ マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

▶ 以下に説明するミュージックサーチの音声コマンドのいずれかを発声します：

音声コマンド

"曲検索の説明"

音声コマンド 曲検索の説明 を使用して、ミュージックサーチのすべての音声コマンドを読み上げさせることができます。

"曲を探す"

音声コマンド　曲を探す　を使用して、ミュージックサーチを開始できます。

ℹ ミュージックサーチを初めて作動したときは、使用可能なすべてのメディアでまず情報が検索されます。そして情報が音声認識機能のために準備されます。ミュージックサーチデータをコンパイルしています、と音声認識機能が発声します。

ミュージックサーチは、データが収集されたときにのみ使用できます。

音声認識の例：

曲を探す

システムは、カテゴリーの番号付きリストを COMAND ディスプレイに表示します。

行番号かカテゴリーをお話しください

アルバム

アルバムタイトルをお話しください 例えばナイトインザオペラ

ナイトインザオペラ

システムは、アルバムの番号付きリストを COMAND ディスプレイに表示します。

行を指定してください

1 行目

1 行目確認しました

音声認識機能は選択したトラックを再生します。

"アルバムで検索"

音声コマンド アルバムで検索 を使用して、使用可能なすべてのメディアで特定のアルバムを検索できます。

"アーティストで検索"

音声コマンド アーティストで検索 を使用して、使用可能なすべてのメディアで、特定のアーティストのトラックを検索できます。

"作曲者で検索"

音声コマンド 作曲者で検索 を使用して、使用可能なすべてのメディアで、特定の作曲者のトラックを検索できます。

"リリースされた年で検索"[7]

音声コマンド リリースされた年で検索 を使用して、使用可能なすべてのメディアで、特定の年のトラックを検索できます。

"ジャンルで検索"

音声コマンド ジャンルで検索 を使用して、使用可能なすべてのメディアで、特定の音楽ジャンルのトラックを検索できます。

"曲名で検索"

音声コマンド曲名で検索 を使用して、特定のトラックを検索できます。

"プレイリストを探す"[7]

音声コマンドプレイリストを探す を使用して、特定のプレイリストを検索できます。

"フリー検索"[7]

音声コマンド フリー検索 を使用して、アーティスト、アルバム、トラックまたは作曲者のカテゴリーを組み合わせることができます。

音声認識の例：

フリーミュージックサーチ

検索する語句をお話しください

ベートーベンの「交響曲第九番」

システムは、指定されたカテゴリーの名前を含む項目がある番号付きリストを表示します。

行番号かカテゴリーをお話しください

曲名

システムは、これまでの検索から、トラックの番号付きリストを COMAND ディスプレイに表示します。

行を指定してください

1 行目

1 行目確認しました

音声認識機能は、選択したトラックを再生します。

"曲情報あり/なし"

音声コマンド 曲情報あり を使用して、トラック名、アルバム名およびアーティストのような、現在再生しているトラックについての情報を表示することができます。

音声コマンド 曲情報なし を使用して、COMAND ディスプレイを元の画面に切り替えて戻すことができます。

"ノーマルモード/ランダムモード"

音声コマンド ランダムモード および ノーマルモード を使用して、ランダム再生を作動または解除することができます。

外部機器

ℹ ナビゲーションなど、現在の表示画面をそのままにしたい場合は、例えば音声コマンド BGM iPod を使用できます。

操作

音声認識機能を使用して以下のことができます：

- メディアインターフェースに切り替える
- USB インタフェースに切り替える

[7] iPod® がメディアインターフェース経由で接続されている場合は、ミュージックサーチには使用できません。

▶ **アプリケーションを選択する：** マルチファンクションステアリングの [音声] スイッチを押します。
▶ 外部機器の音声コマンドのいずれかを発声します。

音声コマンド

"説明"

以下の音声コマンドを使用して、外部機器のすべての音声コマンドを読み上げさせることができます (▷ 48 ページ)：

- メディアインターフェースの説明
- USB の説明

"メディアインターフェイス"/"BGM メディアインターフェース"

音声コマンド BGM iPod を使用して、メディアインターフェースに接続されている外部機器に切り替えることができます。

"USB"/"BGM USB"

音声コマンド USB/BGM USB で、COMAND システムの USB 記憶機器に切り替えることができます。2 つの USB ポートを使用することができます。

"Bluetooth オーディオ"/"BGM Bluetooth オーディオ"

音声コマンド Bluetooth オーディオ/BGM Bluetooth オーディオ を使用して、外部の Bluetooth®オーディオ機器に切り替えることができます。

"iPod"/"BGM iPod"

メディアインターフェースに接続されている場合は、音声コマンド iPod/BGM iPod を使用して iPod®に切り替えることができます。

はじめに

このセクションには、音声認識機能の操作についての主要な音声コマンドがあります。使用可能な音声コマンドは車両の装備によります。

ℹ 操作を容易にするため、複数の音声コマンドを持っている機能があります。これらは、リストでは区切り線でグループ化され、相互に使用できます。

全般的な音声コマンド

- 車両
- インターネットサービス
- 音声認識の使い方

- アドレス帳

- オーディオ

- MP3

- ディスク
- CD チェンジャー

- ナビゲーション
- ルート案内

- テレビ
- DVD

- ラジオ

- 次のメディア
- 前のメディア

- 電話

- 説明

- すべての音声認識機能

- 音声認識の説明

- ラジオの説明
- FM の説明

- 電話の説明

- アドレス帳の説明

- CD の説明

- DVD の説明

- MP3 の説明

- ナビゲーションの説明
- ルート案内の説明

- メディアインターフェースの説明

- メールの説明
- SMS の説明
- メッセージの説明

- 曲検索の説明

音声認識では、以下の音声コマンドを使用できます：

- はい
- 決定
- 確定

- 中止

- いいえ
- 一時停止

- 修正
- 戻る

- 0 - 99

- 次のページ

- 1 行目 - 8 行目

電話の音声コマンド

- 電話

- 名前登録

- 名前登録
- 電話をかける
- PIN 入力
- 連絡先読み上げ
- リダイヤル
- 発信履歴
- 着信履歴
- 名前削除
- 受信トレイ
- メール読み上げ
- 返信
- メールを転送します
- メッセージを送信します
- 文字メッセージ
- メール
- 新しいメール読上げ

電話の音声認識では、以下の音声コマンドを使用できます：

- 保存
- 電話をかける
- 繰り返す
- 修正
- やり直す

ナビゲーションの音声コマンド

一部の国では、ナビゲーションの音声コマンドの作動は制限されています。

- ナビゲーション
- ルート案内
- 音声案内オン
- 音声案内オフ
- 地図操作
- 詳細
- 広域
- 最小スケール
- 最大スケール
- 20 メートルスケール
- 50 メートルスケール
- 100 メートルスケール
- 200 メートルスケール
- 500 メートルスケール
- 1 キロメートルスケール
- 2 キロメートルスケール
- 5 キロメートルスケール
- 10 キロメートルスケール
- 20 キロメートルスケール
- 50 キロメートルスケール
- 100 キロメートルスケール
- 200 キロメートルスケール
- 500 キロメートルスケール
- 1000 キロメートルスケール
- ノースアップ
- ヘディングアップ
- 地図 3D 表示
- 施設アイコンのオン
- 標準の施設アイコンのオン
- 個人用の施設アイコンのオン
- 施設アイコンのオフ

- 目的地設定

- 位置データ

- 案内再開
- 案内再開

- 案内中止

- 目的地の履歴

- 代替ルート

- 市の入力

- 町の発声

- 地区の入力
- 中心地の入力

- 地区の発声

- 郵便番号検索

- 分岐点の入力
- 分岐点の発声

- 施設
- 施設
  - 施設名
  - 現在地周辺
  - 目的地周辺
  - 別の町

- 地図の向き
- 2D 表示
- 3D
- コンパス
- VICS 高速表示
- VICS 一般道表示
- VICS 一般道表示オフ
- 全ての VICS 情報表示をオンにします
- VICS 情報なし
- VICS 情報あり
- 渋滞混雑線表示
- VICS 情報による渋滞混雑線の表示をオフにします
- 順調線の VICS 情報表示をオフにします
- 現在の道路
- 現在地
- 案内再開
- 重要な目的地

- 最寄のガソリンスタンド

- 最寄りの駐車場

- 最寄りのコーヒーショップ

- 最寄りのレストラン

- 最寄りのホテルまたはモーテル

- 最寄りの ATM

- 最寄りの観光名所

- 最寄りのサービスエリア
- コンビニ表示
- 銀行表示
- ガソリンスタンド表示
- 駐車場表示
- 個人設定アイコン表示
- 施設アイコンのオフ
- 通過点 1 - 4 設定
- 通過点 1 - 4 削除
- 登録地 1 - 3
- 自宅
- 登録先に案内する
- 有料道優先
- 一般道優先
- 推奨ルート
- 距離優先
- 代替ルート
- 迂回探索

アドレス帳の音声コマンド

- アドレス帳

- 連絡先読み上げ

- 連絡先を検索

- 位置情報が登録されているアドレス帳を読み上げる

アドレス帳の音声認識では、以下の音声コマンドを使用できます：

- 決定
- 確定

- <1> - <8>
- 1 行目 - 8 行目

- <音声タグ> の自動車

- <音声タグ> の一般電話

- <音声タグ>の携帯

- <音声タグ> のプライベートの携帯

- <音声タグ> の仕事関連の一般電話

- <音声タグ> の仕事関連

- <音声タグ> のプライベート

- 仕事関連

- 自動車

- 一般電話

- 携帯

- 仕事関連の自動車

- 仕事関連

- 仕事関連の携帯

- 自宅

- プライベートの自動車

- プライベートの一般電話

- プライベートの携帯

オーディオ/ビデオの音声コマンド

ラジオ

- ラジオ

ラジオが作動しているときは、以下の音声コマンドを使用できます：

• 87.5 – 108.0 • 87.5 メガヘルツ – 108.0 メガヘルツ • 周波数 87.5 – 周波数 108.0 • 周波数 87.5 – 周波数 108.0 • 周波数 87.5 メガヘルツ – 周波数 108.0 メガヘルツ
• FM • AM
• 次の放送局
• 前の放送局
• 放送局 <放送局名>
• 放送局を選択する
• 放送局を読み上げる
• 放送局を全て削除する
• プリセット 1-99

CD/DVD プレーヤー
• ディスク • CD1-6 • オーディオ CD • BGM CD • DVD • BGM DVD

CD プレーヤーが作動しているときは、以下の音声コマンドを使用できます：

• 次のトラック • 前の曲 • 1 - 999 曲目
• 次のチャプター • 前のチャプター

メディアインターフェース
• メディアインターフェース • BGM メディアインターフェース

メモリーカード
• BGM メモリーカード

USB
• BGM USB

Bluetooth®オーディオ
• BGM Bluetooth オーディオ

iPod®
• BGM iPod

ミュージックサーチの音声コマンド

• 曲を探す
• フリー検索 [8]
• アルバムで検索

8 iPod® がメディアインターフェース経由で接続されている場合は、ミュージックサーチには使用できません。

• 曲目で検索
• アーティストで検索
• 作曲者で検索
• リリースされた年で検索 [8]
• ジャンルで検索
• プレイリストで検索 [8]
• ランダム（曲） • ランダム（曲）オフ
• 曲情報あり • 曲情報なし

8 iPod® がメディアインターフェース経由で接続されている場合は、ミュージックサーチには使用できません。

ヘルプ機能

音声認識機能は、利用者を支援する広範囲のヘルプ機能を持っています。

音声認識機能のヘルプ機能には以下のものがあります。

- 音声認識機能の最適な操作における注意事項
- 可能な音声コマンドのリスト

ヘルプの音声コマンド

"音声認識の説明"

音声コマンド 音声認識の説明 を使用して、音声認識機能の最適な操作についての情報を入手することができます。

"説明"

▶ マルチファンクションステアリングの [音声スイッチ] スイッチを押して、音声コマンド 説明を発声します。
現在選択されているアプリケーションの説明を聞くことができます。

音声会話中に音声コマンド 説明 を発声した場合は、会話をどのように続けるかを説明するヘルプを受信します。例えば、音声コマンド番号で電話するを発声した後。

例えば音声コマンド 電話の説明を使用して、特定のシステムのヘルプ機能を要求することもできます。

ヘルプ表示を作動させた場合は、可能な音声コマンドの選択内容が COMAND ディスプレイに表示されます (▷ 52 ページ)。

数字と文字の入力

数字を入力する

- 0 から 9 の数字が許可されています。
- 電話番号を 3 から 5 桁のブロックで発声します。

つづり [9]

- アルファベットの文字と 1 から 9 の数字が許可されています。
- 文字を 5 から 7 文字のブロックで発声します。
- 各文字をはっきりと発声します。

9 英語でのみ使用可能

音声認識を改善するために

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
音声認識機能がお客様を理解しない。	運転席から音声認識機能を操作していない ▶ 運転席からのみ音声認識機能を操作します。
	強調しすぎたり、とても大きく、またはとても小さく話している。 ▶ 強調しないで、わかりやすくはっきりと音声コマンドを話します。
	風量が最も高い設定になっている、または開いている窓からの風の音がする。 ▶ 大きな音の干渉を防ぎます。
アドレス帳の項目が認識されない。	アドレス帳に入力された名前に十分な違いがあるように聞こえない、または書かれているように発音されていない。 ▶ アドレス帳の項目が適切であることを確認します。 アドレス帳項目の以下のことを確認します： • 姓と名などの氏名項目が正しい欄にある • 略語や頭字語が使われていない • 氏名に不必要なスペースがない • 特別な文字が使用されていない • よみがな欄でカタカナを使用している ▶ 音声コマンド 連絡先読み上げを発声します。 音声認識機能がアドレス帳を読み上げます。 ▶ 希望する名前が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。
放送局リストの項目が認識されない	▶ 音声コマンド放送局読み上げを発声します。 音声認識機能が放送局リストを読み上げます。 ▶ 希望する放送局が読み上げられたときに、マルチファンクションステアリングの スイッチを押します。 放送局が選択されます (▷ 30 ページ)。
連続した数字形式で電話番号を発声したが、何を発声しているかを音声認識機能が認識できない。	▶ 3〜5 桁の数字ごとなど、数字を区切って電話番号を発声してください。

ヘルプ表示

ヘルプ表示を使用して、有効な音声コマンドの選択内容を COMAND ディスプレイに一時的に表示することができます。話し始めるとただちに、音声コマンドは非表示になります。

COMAND システムのメニュー 設定 でヘルプ機能のオンまたはオフを切り替えることができます。

COMAND システムの構成や動作原理については、対応する取扱説明書にあります。

ヘルプ表示のオン/オフを切り替える

▶ [車両] スイッチを押します。
車両メニューが表示されます。

▶ 設定 を選択する：コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして、押して確定します。
メニューが表示されます。

▶ 音声認識設定 を選択する：コントローラーをまわして、押します。

▶ ﾍﾙﾌﾟ 表示 を選択します。
ヘルプ表示をオン ☑ またはオフ □ に切り替えます。

音声認識学習

音声認識学習を使用して、音声認識機能をお客様自身の声に微調整し、音声認識を向上させることができます。

音声認識学習は、車両が停車しているときのみ開始できます。セッションが開始すると、音声指示でシステムがトレーニングの説明をします。

ℹ 音声認識学習が作動している場合、他の利用者の音声認識の質に影響を与えることがあります。他の利用者の音声認識の質を損ねる場合には、音声認識学習を停止してください。

音声認識学習は 2 部で構成されています。第 1 部では数字、第 2 部では特定の音声コマンドのシステムの音声認識学習を行います。

システムはいつでも出荷時の設定にリセットできます。

ℹ 音声認識学習は完全に行なう必要はありません。数字の音声認識学習でも、認識率は著しく向上します。第 1 部の後で音声認識学習を中止することができます。

COMAND システムの構成や動作原理については、対応する取扱説明書にあります。

新しい音声認識学習を開始する

▶ [車両] スイッチを押します。
車両メニューが表示されます。

▶ 設定 を選択する：コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして、押して確定します。
メニューが表示されます。

▶ 音声認識設定 を選択する：コントローラーをまわして、押します。

▶ 音声認識学習を開始する を選択します。
さらに情報が必要かどうかをたずねるメッセージが表示され、聞こえます。

▶ はい または いいえ を選択します。
  - いいえ を選択した場合は、音声認識学習の最初のパートが始まります。
  - はい を選択した場合は、さらなる情報が表示され聞こえます。

1 部目の終わりに、2 部目を開始したいかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択します。

- いいえ を選択した場合は、音声認識学習が中止されます。1 部目のデータは自動的に登録されます。
- はい を選択した場合は、2 番目のパートが始まります。

2 部目が終了すると音声認識学習は完了します。この結果に対するメッセージが表示されます。2 部目のデータは自動的に保存されます。

音声認識学習の 1 部または 2 部目を中止する

▶ 中止 を選択します。
本当に中止したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択します。

- はい を選択した場合は、音声認識学習が中止されます。終了したパートからのデータは保存されません。
- いいえ を選択した場合は、現在のパートが再度開始します。

既存の音声認識学習結果を削除する

▶ [車両] スイッチを押します。
車両メニューが表示されます。

▶ 設定 を選択する：コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして、押して確定します。
メニューが表示されます。

▶ 音声認識設定 を選択する：コントローラーをまわして、押します。

▶ 音声認識学習結果を削除する を選択します。
本当に削除したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択します。

音声認識学習の作動/停止

▶ [車両] スイッチを押します。
車両メニューが表示されます。

▶ 設定 を選択する：コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして、押して確定します。
メニューが表示されます。

▶ 音声認識設定 を選択する：コントローラーをまわして、押します。

▶ 音声認識学習結果を利用する を選択します。
音声認識学習のオン ☑ またはオフ ☐ を切り替えます。

発行物の詳細

インターネット

メルセデス・ベンツ車や Daimler AG についての詳細情報については、以下のウェブサイトに記載されています。

http://www.mercedes-benz.co.jp

編集オフィス

車両メーカー

Daimler AG
Mercedesstrasse 137
70327 Stuttgart
ドイツ

編集終了 04.03.2014